

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公開番号】特開2009-165753(P2009-165753A)

【公開日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2009-030

【出願番号】特願2008-9736(P2008-9736)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月17日(2011.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域内に配置され遊技媒体が入賞可能な始動口と、

該始動口に遊技媒体が入賞したことを検出する入賞状態検出手段と、

該入賞状態検出手段による前記遊技媒体の検出に基づいて抽選を行う抽選手段と、

閉状態から開状態に変化させることで前記遊技媒体が入賞可能となる開閉入賞装置と、

前記抽選手段の抽選結果が当りである場合には、前記開閉入賞装置の開閉動作を行うことで遊技者に利益を付与する利益付与手段と、

遊技の進行に伴う遊技状態および前記抽選手段の抽選結果に関する演出画像を表示する演出表示装置と、

前記抽選手段の抽選結果が当りである場合には、複数種類の装飾図柄のうち特定の装飾図柄の組合せに決定する一方、前記抽選手段の抽選結果が外れである場合には、前記特定の装飾図柄の組合せとはならない装飾図柄の組合せに決定する最終停止図柄決定手段と、

前記複数種類の装飾図柄として前記特定の装飾図柄の組合せを構成し得る有効図柄、及び前記特定の装飾図柄の組合せを構成し得ない無効図柄がリール配列された装飾図柄列を複数記憶する装飾図柄列記憶手段と、

前記入賞状態検出手段による前記遊技媒体の検出を契機として、前記演出表示装置の表示領域に一列あたり所定数の装飾図柄が視認可能となるように前記複数の装飾図柄列を変動させるとともに、前記複数の装飾図柄列にまたがる複数の有効ライン上に前記最終停止図柄決定手段の決定結果に対応した装飾図柄の停止図柄で変動を順次停止させる装飾図柄列変動制御手段と、

前記複数の装飾図柄列のうち最後に停止される最終停止図柄列が停止するよりも前の段階で、変動が仮停止された装飾図柄列の一部分を圧縮する装飾図柄列演出を実行し、前記演出表示装置の表示領域に視認可能な前記無効図柄を単数または複数消失させる装飾図柄列演出実行手段と、を備えることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記装飾図柄列演出実行手段は、前記特定の装飾図柄の組合せの一部を構成するリーチ状態が前記有効ライン上に仮停止されないのを契機として、前記装飾図柄列演出を実行することを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項 3】

前記装飾図柄列演出実行手段は、前記装飾図柄列演出において前記無効図柄を消失させる際に、当該無効図柄に隣接した有効図柄を移動させることを特徴とする請求項 1または請求項 2に記載の遊技機。